

梅花針による育毛

梅花針(ばいかしん)の針刺激で頭皮の修復機能による育毛

■梅花針(ばいかしん)



形状は長さ20cm
細いしなる棒の先端部に7本の針がついている

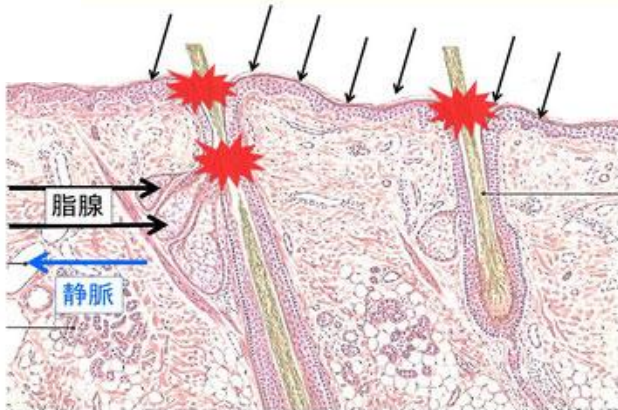
■梅花針を使った育毛方法

棒の先を持って振ることによって棒がしなり先端部の針が頭皮に当たるように使う。
頭皮から血が出るまでくらいの強さで髪が薄くなった頭部を叩きます。

※1日1回 5分以内で5日間続けたあとは2日間休むことが大事です。



■針刺激による育毛メカニズム



参考文献

医道の日本 美容鍼で健康美人！/ヘアトラブルへの鍼灸治療
 医道の日本 特集 治療家が知っておくべき高齢者のケア
 現代中医学診療の手引き
 美容のヒフ科学 改訂8版
 難病の鍼灸治療
 深谷伊三郎筆 お灸で病気を治した話 灸道臨床余録・第5集

引用文献

医道の日本社 はりきゆう理論
 南江堂 組織学

毛髪は毛包から栄養を受け取ります。しかし、毛包からの栄養を受け取れない場合、毛髪の育成成長がうまくいかず薄毛になってしまいます。

針刺激により頭皮の修復機能が働いて血行が促進され必要な栄養を毛根部の毛包に供給し栄養状態が改善されます。毛根部の毛包が活発化されると、毛髪を太くさせ、休んでいた毛根部が眠りから覚め毛髪を元気にさせます。毛髪の育ちやすい状態は頭皮への針刺激が有効です。抜け毛は頭皮環境を整えることで毛髪を元気にすることができます。